

防災・減災ニューデール



子とし竹谷 委員副議長 参院性女 議員長

日本再生のために自公政権で取り組む緊急経済対策の柱の一つが「復興・防災対策」です。公明党が提唱する「命を守る防災・減災ニューデール」が始まろうとしています。

老朽化が進む橋や道路、

女性議員の 国政レポート

大という波及効果が期待できません。

また、壊れたら直すという維持管理から、点検で小さな傷のうちに発見し、最新の技術を使って修理し、安全性と長寿命化を図る予

学校、病院、公共施設などの社会インフラの耐震、防災対策に国を挙げて取り組むことは、命を守るために待ったなしの課題であることとは間違いありません。さらに防災・減災ニューデールは経済回復と雇用の拡

防保全に変えることで、総務省によると全国の自治体が管理する橋だけでも17兆

円もコストカットになると試算されています。

しかし「防災・減災」のためにどんな事業をやってもいい、ということではありません。いわゆる復興予算の流用問題と同じこと

が、防災・減災の名を借りて行われれば国民を裏切ることになります。

そこで昨年来、役所に対して「全国一斉に総点検を行い、必要性の高い事業を抽出して、優先的に補修し、どこに、いくら使われたの

か、国民にきちんと見えるようにするべきだ」と強く主張してきました。

その公明党の主張を受けて、国土交通省では、国や自治体などが管理する道路や橋などが、いつ、どのように点検、修繕された等の情報を一覧表にして、将来的に国民

“見える化”でムダ遣い許さず

も見るができるようにするとの方針を打ち出しました。公明党が与党になった成果の一つといえます。

防災・減災ニューデールを強力に進め、併せてその“見える化”にも全力で取り組んでまいります。